بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

イスラームの英雄

第 10 巻

アムル・ブン・アル＝アース

エジプトの征服者、ザート・アッ＝サラースィルの司令官 — クルアーンと真正なハディースに基づいて

قُل لِّلَّذِينَ كَفَرُوٓاْ إِن يَنتَهُواْ يُغۡفَرۡ لَهُم مَّا قَدۡ سَلَفَ وَإِن يَعُودُواْ فَقَدۡ مَضَتۡ سُنَّتُ ٱلۡأَوَّلِينَ ٣٨

「不信心の者に言ってやるがいい。「あなたがたが（信者に対する迫害を）止めるならば，過去のことは赦されよう。」だがかれらがもし繰り返すなら，昔の先例が既にあるのだ。」

戦利品章 8:38

HJ CHE ALIM HJ CHE HARON

quranscience.my | facebook.com/QuranScienceMY

quranscience.my で無料のデジタル版を読むには、こちらをスキャンしてください

© 2026 年 / 1448 AH quranscience.my — 無料の本。販売はできません。

謝辞

悔悟の扉を大きく開き、イスラームをそれ以前のすべてを消し去るものとされたアッラーに讃えあれ。私たちの主、預言者ムハンマド ﷺ と、その家族と教友たち、とりわけザート・アッ＝サラースィルの司令官でありエジプトの征服者であるアムル・ブン・アル＝アース رضى الله عنه に祝福と平安あれ。

この本を、最愛の妻

ザハラ・モハマド・ラティフ；

愛する子どもたち、

ムハンマド・ハフィズ、ヌール・ハズワニ、アブドゥル・ハキム、ヌール・ヒダヤ、ノル・アキラ、ノル・アティカ；

そして義理の子どもたち、

ファジラ、マレク、ハニン、ファイリザル、フィルワンに捧げます。

『イスラームの英雄』第 10 巻は、アムル・ブン・アル＝アース رضى الله عنه の生涯を語ります。かつてムスリムをアビシニアまで追ったクライシュ族の使者が、確信をもってイスラームに入り、アッラーの使徒 ﷺ に司令官として任命され、パレスチナとエジプトを開き、アフリカ大陸で最初のモスクを建てました。この知識が「役に立つ知識（イルムン・ユンタファウ・ビヒ）」となりますように。

この電子書籍の表紙について

この電子書籍の表紙には、人間や動物は描かれていません。描かれているのは夕暮れの***ナイル川***です。金色と橙色の空を映す静かな水面、岸辺のナツメヤシ、そして川の向こうの遠くに***ギザのピラミッド***の影が見えます。ここは、アムル・ブン・アル＝アースがカリフ・ウマル・ブン・アル＝ハッターブの時代に開いたエジプトの地です。

川岸には***質素なモスク***が建っています。日干しれんがの壁とナツメヤシの幹の柱を持ち、内側から温かな光がこぼれています。これは、エジプトとアフリカ大陸で最初に建てられたモスク、フスタートのアムル・ブン・アル＝アース・モスク（ヒジュラ暦 21 年）を思い起こさせます。

やわらかな夕暮れの光は、アムルの歩みを象徴しています。イスラームへの敵意の闇から導きの光へ ― 「イスラームはそれ以前のものを打ち消す」（サヒーフ・ムスリム 121）からです。

下部の***濃紺の帯***は***細い金色の線***で縁取られ、著者名が記されています。『イスラームの英雄』のすべての表紙をそろえるため、第 1 巻から第 9 巻と同じデザインです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron ― ムスリムのための無料版 |

目次

アムル・ブン・アル＝アース 5
1. アムル・ブン・アル＝アースとは誰か 6
2. 最も激しい敵 7
3. ナジャーシーの忠告 8
4. ハーリドとともにマディーナへ 9
5. 「イスラームはそれ以前のものを打ち消す」 10
6. 「人々は帰依し、アムルは信じた」 13
7. ザート・アッ＝サラースィルの司令官 14
8. 凍える夜のタヤンムム 16
9. 「正しい人にとって良い財産は何とすばらしいことか」 18
10. アッラーの使徒ﷺのオマーンへの使者 19
11. 「私の味方はアッラーと正しい信者たちだけである」 20
12. パレスチナの開放 22
13. エジプトの開放 23
14. アフリカ大陸最初のモスク 24
15. 努力して判断する総督と裁判官 25
16. 教友たちの間の争い 27
17. 最期のとき 28
18. アムル・ブン・アル＝アースの人柄 29
19. アムルの物語の出典 30
20. アムルの物語に登場する人物 32
21. アムルの物語に登場する場所 33
22. アムルの生涯の年表 34
23. アムルについてよくある質問 35
24. 教訓とむすび 37
参考文献 38
支援と寄付 40

色の見方：緑の枠 = クルアーンの節；金色の枠 = ハディース；茶色の枠 = スィーラの注（スィーラ書の伝承）；青い表 = 比較。

アムル・ブン・アル＝アース

死期が近づいたとき、一人の偉大な司令官が顔を壁に向けて長いあいだ泣きました。かつて彼ほどアッラーの使徒 ﷺ を憎んだ者はいなかったが、その後は彼にとって預言者 ﷺ ほど愛しく尊い人はなく、畏敬のあまりその顔を目いっぱい見つめることさえできなかった、と彼は語りました（サヒーフ・ムスリム 121）。その司令官こそ***アムル・ブン・アル＝アース*** رضى الله عنه です。

アムルは聡明さで知られたクライシュ族の指導者でした。かつてはムスリムを追うためにクライシュ族の使者としてアビシニアへ行き、その後ヒジュラ暦 8 年にイスラームに入りました。アッラーの使徒 ﷺ は彼を***ザート・アッ＝サラースィル***遠征の司令官に任命し、のちに彼は***パレスチナ***と***エジプト***を開き、ナイル川のほとりにアフリカ大陸最初のモスクを建てました。

この電子書籍は*『イスラームの英雄』*シリーズの第 10 巻です。これまでの巻と同じく、まずクルアーンと真正なハディースから、次に信頼できるスィーラ（預言者伝）と歴史の書から物語を集めました。すべての伝承に出典を示し、有名でも伝承経路の弱い話は正直に説明しています。

アムルの物語は変化の物語です。最も激しい敵から、アッラーの使徒 ﷺ を深く敬う教友へ。イスラームがそれ以前のすべてを打ち消し、悔悟の扉が常に開かれていることを示しています。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

アムル・ブン・アル＝アースとは誰か

彼のフルネームは*アムル・ブン・アル＝アース・ブン・ワーイル*・アッ＝サハミー・アル＝クラシーで、マッカのクライシュ族の一支族サハム家の出身です。クンヤ（通称）は*アブー・アブドゥッラー*。息子の*アブドゥッラー・ブン・アムル*は学識ある教友で、最も早くハディースを書き記した一人であり、父より先にイスラームに入りました。

歴史書はアムルを、アラブで最も聡明で外交に長けた人物の一人として描いています。イスラーム以前にはシャーム、イエメン、アビシニア、エジプトを旅した商人でした。

名前と称号

名前・称号	説明
アムル・ブン・アル＝アース	本名
アブー・アブドゥッラー	息子アブドゥッラーにちなむクンヤ
アッ＝サハミー・アル＝クラシー	クライシュ族サハム家の出身
ザート・アッ＝サラースィルの司令官	アッラーの使徒 ﷺ により任命（サヒーフ・ブハーリー3662）
エジプトの征服者	ウマルの時代にエジプトを開いた

教訓

聡明さは大きな恵みです。イスラーム以前、アムルの知恵は真理に逆らうために使われましたが、イスラームの後は国々を開き、賢く治めるための力となりました。

最も激しい敵

アムル自身、ジャーヒリーヤ（無明時代）には自分ほどアッラーの使徒 ﷺ を憎む者はおらず、何より望んだのは彼を殺すことだったと告白しています（サヒーフ・ムスリム 121）。彼は*ウフド*と*塹壕（ハンダク）*でムスリムと戦いました。

歴史の注：クライシュ族のアビシニアへの使者

ムスリムがアビシニアへ移住すると、クライシュ族は彼らの引き渡しを求めるため、アムル・ブン・アル＝アースとアブドゥッラー・ブン・アビー・ラビーアに贈り物を持たせてナジャーシー王のもとへ送りました。ナジャーシーはジャアファル・ブン・アビー・ターリブの言葉を聞き、要求を退けて贈り物を返しました（第 8 巻：ジャアファル・ブン・アビー・ターリブを参照）。

伝承の評価： シュアイブ・アル＝アルナウートは伝承経路を*ハサン（良好）*と判定しています。

参照：

アフマド・ブン・ハンバル『ムスナド』ハディース番号 1740（ウンム・サラマの伝承）；イブン・ヒシャーム『預言者伝』。

教訓

アッラーは、イスラームの最も激しい敵であっても、お望みの者を導かれます。誰の導きについても決して望みを捨ててはなりません。

ナジャーシーの忠告

塹壕の戦いの後、アムルはムハンマド ﷺ の勢いが増していくのを見ました。彼は再びアビシニアへ向かいました。今度はナジャーシーのもとに身を寄せるためです。

ハディースの注：「彼に従え。彼は真理の上にいる」

アムルはこう語っています。アビシニアに来ていたアッラーの使徒 ﷺ の使者を殺すため、引き渡してくれるようナジャーシーに頼んだ。ナジャーシーは怒って言った。「ムーサーのもとに来た大いなるナームース（ジブリール）が訪れる人の使者を、殺させるために渡せと言うのか。哀れな者よ、アムル。私に従い、彼に従え。アッラーにかけて、彼は真理の上にいる。」こうしてアムルはナジャーシーの手を取ってイスラームへの忠誠を誓いました。

伝承の評価： 『ムスナド』の校訂者の一部は伝承経路を*ハサン*と判定しています。この話はスィーラの書でもよく知られています。

参照：

アフマド・ブン・ハンバル『ムスナド』（アムル・ブン・アル＝アースの入信に関するハディース）；イブン・ヒシャーム『預言者伝』（イブン・イスハークの伝承）。

教訓

かつてアムルの要求を退けたナジャーシーが、今度は彼の導きのきっかけとなりました。ジャアファルが何年も前にアビシニアにまいた善の種は、実を結び続けたのです。

ハーリドとともにマディーナへ

ヒジュラ暦8年サファル月、アムルはマディーナへ向かいました。途中、同じ目的でマディーナへ向かう二人のクライシュ族の指導者に出会いました。

歴史の注：クライシュ族の三人の指導者

イブン・イスハークによれば、アムルは*ハーリド・ブン・アル＝ワリード*と*ウスマーン・ブン・タルハ*（カアバの鍵の管理者）に出会いました。三人はともにマディーナに着き、アッラーの使徒 ﷺ の前でイスラームに入りました。アッラーの使徒 ﷺ は彼らを見て「マッカはあなたがたに、その心臓のかけらを投げてよこした」と言われたと伝えられます。

伝承の評価： 三人がともに入信したことはスィーラの書でよく知られていますが、預言者の言葉の文言は強い伝承経路では伝わっていません。

参照：
イブン・ヒシャーム『預言者伝』（イブン・イスハークの伝承）；イブン・サアド『大列伝』。

教訓

クライシュ族の二大司令官ハーリドとアムルは同じ日にイスラームに入りました。その後、二人ともイスラーム史上最も偉大な征服者となりました（第 3 巻：ハーリド・ブン・アル＝ワリードを参照）。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

「イスラームはそれ以前のものを打ち消す」

死期が近づいたとき、アムル自身がアッラーの使徒 ﷺ に忠誠を誓った瞬間を語りました。

ハディース — サヒーフ・ムスリム、No. 121

حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ الْمُثَنَّى الْعَنَزِيُّ، وَأَبُو مَعْنٍ الرَّقَاشِيُّ وَإِسْحَاقُ بْنُ مَنْصُورٍ كُلُّهُمْ عَنْ أَبِي عَاصِمٍ، - وَاللَّفْظُ لاِبْنِ الْمُثَنَّى - حَدَّثَنَا الضَّحَّاكُ، - يَعْنِي أَبَا عَاصِمٍ - قَالَ أَخْبَرَنَا حَيْوَةُ بْنُ شُرَيْحٍ، قَالَ حَدَّثَنِي يَزِيدُ بْنُ أَبِي حَبِيبٍ، عَنِ ابْنِ شَمَاسَةَ الْمَهْرِيِّ، قَالَ حَضَرْنَا عَمْرَو بْنَ الْعَاصِ وَهُوَ فِي سِيَاقَةِ الْمَوْتِ . فَبَكَى طَوِيلاً وَحَوَّلَ وَجْهَهُ إِلَى الْجِدَارِ فَجَعَلَ ابْنُهُ يَقُولُ يَا أَبَتَاهُ أَمَا بَشَّرَكَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم بِكَذَا أَمَا بَشَّرَكَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم بِكَذَا قَالَ فَأَقْبَلَ بِوَجْهِهِ . فَقَالَ إِنَّ أَفْضَلَ مَا نُعِدُّ شَهَادَةُ أَنْ لاَ إِلَهَ إِلاَّ اللَّهُ وَأَنَّ مُحَمَّدًا رَسُولُ اللَّهِ إِنِّي قَدْ كُنْتُ عَلَى أَطْبَاقٍ ثَلاَثٍ لَقَدْ رَأَيْتُنِي وَمَا أَحَدٌ أَشَدَّ بُغْضًا لِرَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم مِنِّي وَلاَ أَحَبَّ إِلَىَّ أَنْ أَكُونَ قَدِ اسْتَمْكَنْتُ مِنْهُ فَقَتَلْتُهُ فَلَوْ مُتُّ عَلَى تِلْكَ الْحَالِ لَكُنْتُ مِنْ أَهْلِ النَّارِ فَلَمَّا جَعَلَ اللَّهُ الإِسْلاَمَ فِي قَلْبِي أَتَيْتُ النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم فَقُلْتُ ابْسُطْ يَمِينَكَ فَلأُبَايِعْكَ . فَبَسَطَ يَمِينَهُ - قَالَ - فَقَبَضْتُ يَدِي . قَالَ " مَا لَكَ يَا عَمْرُو " . قَالَ قُلْتُ أَرَدْتُ أَنْ أَشْتَرِطَ . قَالَ " تَشْتَرِطُ بِمَاذَا " . قُلْتُ أَنْ يُغْفَرَ لِي . قَالَ " أَمَا عَلِمْتَ أَنَّ الإِسْلاَمَ يَهْدِمُ مَا كَانَ قَبْلَهُ وَأَنَّ الْهِجْرَةَ تَهْدِمُ مَا كَانَ قَبْلَهَا وَأَنَّ الْحَجَّ يَهْدِمُ مَا كَانَ قَبْلَهُ " . وَمَا كَانَ أَحَدٌ أَحَبَّ إِلَىَّ مِنْ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم وَلاَ أَجَلَّ فِي عَيْنِي مِنْهُ وَمَا كُنْتُ أُطِيقُ أَنْ أَمْلأَ عَيْنَىَّ مِنْهُ إِجْلاَلاً لَهُ وَلَوْ سُئِلْتُ أَنْ أَصِفَهُ مَا أَطَقْتُ لأَنِّي لَمْ أَكُنْ أَمْلأُ عَيْنَىَّ مِنْهُ وَلَوْ مُتُّ عَلَى تِلْكَ الْحَالِ لَرَجَوْتُ أَنْ أَكُونَ مِنْ أَهْلِ الْجَنَّةِ ثُمَّ وَلِينَا أَشْيَاءَ مَا أَدْرِي مَا حَالِي فِيهَا فَإِذَا أَنَا مُتُّ فَلاَ تَصْحَبْنِي نَائِحَةٌ وَلاَ نَارٌ فَإِذَا دَفَنْتُمُونِي فَشُنُّوا عَلَىَّ التُّرَابَ شَنًّا ثُمَّ أَقِيمُوا حَوْلَ قَبْرِي قَدْرَ مَا تُنْحَرُ جَزُورٌ وَيُقْسَمُ لَحْمُهَا حَتَّى أَسْتَأْنِسَ بِكُمْ وَأَنْظُرَ مَاذَا أُرَاجِعُ بِهِ رُسُلَ رَبِّي .

訳：

イブン・シャマーサ・アル＝マフリーは言った。私たちはアムル・ブン・アル＝アースが臨終のときに彼を訪ねた。彼は長いあいだ泣き、顔を壁に向けた。息子が言った。「父上、アッラーの使徒 ﷺ はあなたにこれこれの吉報を与えられたではありませんか。」すると彼は顔をこちらに向けて言った。「私たちが用意できる最良の備えは、アッラーのほかに神はなく、ムハンマドはアッラーの使徒であるという証言である。私は三つの状態を経てきた。かつて私は、私ほどアッラーの使徒 ﷺ を憎む者はなく、彼を捕らえて殺すことほど望むことはない、という状態にあった。もしその状態で死んでいたら、私は火獄の住人だっただろう。***アッラーが私の心にイスラームを置かれたとき、私は預言者 ﷺ のもとへ行き、『右手を差し出してください。あなたに忠誠を誓います』と言った。彼は右手を差し出されたが、私は手を引っ込めた。彼は『どうしたのか、アムルよ』と言われた。私は『条件をつけたいのです』と言った。彼は『何を条件にするのか』と言われた。私は『私が赦されることです』と言った。彼は言われた。『あなたは知らないのか。イスラームはそれ以前のものを打ち消し、ヒジュラはそれ以前のものを打ち消し、ハッジはそれ以前のものを打ち消すことを。』*** それからというもの、アッラーの使徒 ﷺ ほど私にとって愛しい人はなく、私の目に彼ほど尊い人はいなかった。彼への畏敬のあまり、私は彼を目いっぱい見つめることができなかった。もし彼の姿を描写してくれと頼まれても、私にはできない。一度も彼を目いっぱい見つめたことがないからだ。もしその状態で死んでいたら、私は楽園の住人であることを望めただろう。その後、私たちはさまざまな事柄を担ったが、それらの中で自分がどうであったのか分からない。私が死んだら、泣き女も火も伴わせないでほしい。私を埋葬したら、土を静かにかけ、ラクダを屠ってその肉を分けるほどの間、私の墓のまわりにとどまってほしい。あなたがたがいることで心を安らげ、主の使いたちに何と答えるかを見定められるように。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ムハンマド・ブン・アル＝ムサンナー・アル＝アナズィー ← アブー・マウン・アッ＝ラカーシー ← イスハーク・ブン・マンスール ← アブー・アースィム・アッ＝ダッハーク ← ハイワ・ブン・シュライフ ← ヤズィード・ブン・アビー・ハビーブ ← イブン・シャマーサ・アル＝マフリー ← アムル・ブン・アル＝アース رضي الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』信仰の書、「イスラームはそれ以前のものを打ち消す」の章、ハディース番号 121。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に次いで最も真正なハディース集『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠： sunnah.com/muslim:121

アッラーは、不信仰をやめる者について次のように言われます。

戦利品章 8:38

قُل لِّلَّذِينَ كَفَرُوٓاْ إِن يَنتَهُواْ يُغۡفَرۡ لَهُم مَّا قَدۡ سَلَفَ وَإِن يَعُودُواْ فَقَدۡ مَضَتۡ سُنَّتُ ٱلۡأَوَّلِينَ ٣٨

不信心の者に言ってやるがいい。「あなたがたが（信者に対する迫害を）止めるならば，過去のことは赦されよう。」だがかれらがもし繰り返すなら，昔の先例が既にあるのだ。

訳：三田了一 — quran.com/8:38

教訓

悔悟の扉は常に開かれています。誠実にイスラームに入る者は、かつての敵意がどれほど大きくても、過去の罪がすべて赦されます。

「人々は帰依し、アムルは信じた」

アムルの入信は恐れや強制からではなく、確信から生まれたものでした。ある伝承は、このことについてのアッラーの使徒 ﷺ の称賛を伝えています。

ハディースの注：«أَسْلَمَ النَّاسُ وَآمَنَ عَمْرُو بْنُ الْعَاصِ»

ウクバ・ブン・アーミルによれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われました。 ***「人々は帰依した（イスラームに入った）が、アムル・ブン・アル＝アースは信じた。」*** 学者たちは、多くの人がマッカ征服の後に恐れや必要からイスラームに入ったのに対し、アムルはそれ以前に自ら進んで確信をもって入信した、と説明しています。

伝承の評価： ダールッサラーム版では*ハサン*；ただしティルミズィー自身は*ガリーブ（稀）*で伝承経路は強くないと述べています。ティルミズィー3844

参照：

ティルミズィー『スナン』3844。

教訓

確信から生まれた信仰は、状況から生まれた帰依よりも堅固です。アムルはクライシュ族がまだ強かったときにイスラームに入りました。

ザート・アッ＝サラースィルの司令官

入信してわずか数か月後、ヒジュラ暦8年ジュマーダー・アル＝アーキラ月に、アッラーの使徒 ﷺ はアムルをアラビア半島北部の*ザート・アッ＝サラースィル*への遠征隊の司令官に任命されました。スィーラの書によれば、後にアブー・ウバイダの指揮で送られた援軍にはアブー・バクルとウマルも加わっていました。帰還後、アムルはアッラーの使徒 ﷺ に尋ねました。

ハディース ― サヒーフ・ブハーリー、No. 3662

حَدَّثَنَا مُعَلَّى بْنُ أَسَدٍ، حَدَّثَنَا عَبْدُ الْعَزِيزِ بْنُ الْمُخْتَارِ، قَالَ خَالِدٌ الْحَذَّاءُ حَدَّثَنَا عَنْ أَبِي عُثْمَانَ، قَالَ حَدَّثَنِي عَمْرُو بْنُ الْعَاصِ ـ رضى الله عنه ـ أَنَّ النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم بَعَثَهُ عَلَى جَيْشِ ذَاتِ السَّلاَسِلِ، فَأَتَيْتُهُ فَقُلْتُ أَىُّ النَّاسِ أَحَبُّ إِلَيْكَ قَالَ " عَائِشَةُ ". فَقُلْتُ مِنَ الرِّجَالِ فَقَالَ " أَبُوهَا ". قُلْتُ ثُمَّ مَنْ قَالَ " ثُمَّ عُمَرُ بْنُ الْخَطَّابِ ". فَعَدَّ رِجَالاً.

訳：

アムル・ブン・アル＝アースによれば、預言者 ﷺ は彼をザート・アッ＝サラースィルの軍の指揮官として送られた。（アムルは言った。）*私は彼のもとへ行き、「人々の中で誰があなたにとって最も愛しいですか」と尋ねた。彼は「アーイシャ」と言われた。私は「男性の中では」と言った。彼は「その父」と言われた。私は「その次は誰ですか」と言った。彼は「それからウマル・ブン・アル＝ハッターブ」と言われた。* そして、さらに何人かの名を挙げられた。

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ムアッラー・ブン・アサド ← アブドゥルアズィーズ・ブン・アル＝ムフタール ← ハーリド・アル＝ハッザー ← アブー・ウスマーン・アン＝ナフディー ← アムル・ブン・アル＝アース رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』預言者 ﷺ の教友たちの美徳の書、ハディース番号 3662。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:3662

別の伝承でアムルはこう付け加えています。「彼が私を彼らの最後に置くのではないかと恐れて、私は黙った」（サヒーフ・ブハーリー4358）。

教訓

アッラーの使徒 ﷺ は、入信して間もないアムルに、その能力ゆえに指揮を任されました。同時に、ご自身のもとでの地位は信仰と献身によって測られることを、率直に教えられたのです。

凍える夜のタヤンムム

ザート・アッ＝サラースィルへの道中での出来事は、アムルがクルアーンを深く理解していたことを示しています。

ハディース — スナン・アビー・ダーウード、No. 334

حَدَّثَنَا ابْنُ الْمُثَنَّى، أَخْبَرَنَا وَهْبُ بْنُ جَرِيرٍ، أَخْبَرَنَا أَبِي قَالَ، سَمِعْتُ يَحْيَى بْنَ أَيُّوبَ، يُحَدِّثُ عَنْ يَزِيدَ بْنِ أَبِي حَبِيبٍ، عَنْ عِمْرَانَ بْنِ أَبِي أَنَسٍ، عَنْ عَبْدِ الرَّحْمَنِ بْنِ جُبَيْرٍ الْمِصْرِيِّ، عَنْ عَمْرِو بْنِ الْعَاصِ، قَالَ احْتَلَمْتُ فِي لَيْلَةٍ بَارِدَةٍ فِي غَزْوَةِ ذَاتِ السَّلاَسِلِ فَأَشْفَقْتُ إِنِ اغْتَسَلْتُ أَنْ أَهْلِكَ فَتَيَمَّمْتُ ثُمَّ صَلَّيْتُ بِأَصْحَابِي الصُّبْحَ فَذَكَرُوا ذَلِكَ لِلنَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم فَقَالَ " يَا عَمْرُو صَلَّيْتَ بِأَصْحَابِكَ وَأَنْتَ جُنُبٌ " . فَأَخْبَرْتُهُ بِالَّذِي مَنَعَنِي مِنَ الاِغْتِسَالِ وَقُلْتُ إِنِّي سَمِعْتُ اللَّهَ يَقُولُ { وَلاَ تَقْتُلُوا أَنْفُسَكُمْ إِنَّ اللَّهَ كَانَ بِكُمْ رَحِيمًا } فَضَحِكَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم وَلَمْ يَقُلْ شَيْئًا .

訳：

アムル・ブン・アル＝アースは言った。ザート・アッ＝サラースィルの遠征中、とても寒い夜に私は大汚（ジュヌブ）の状態になった。水で全身を洗えば死んでしまうのではないかと恐れ、タヤンムム（土による清め）をして、仲間たちと暁の礼拝を導いた。彼らがこのことを預言者 ﷺ に伝えると、彼は「アムルよ、あなたは大汚のまま仲間を率いて礼拝したのか」と言われた。私は洗えなかった理由を伝え、「アッラーが『あなたがた自身を殺してはならない。本当にアッラーはあなたがたに慈悲深くあられる』と言われるのを聞きました」と言った。*するとアッラーの使徒 ﷺ は笑われ、何もおっしゃらなかった。*

伝承経路： イマーム・アブー・ダーウードの伝承：ムハンマド・ブン・アル＝ムサンナー ← ワフブ・ブン・ジャリール ← ジャリール・ブン・ハーズィム ← ヤフヤー・ブン・アイユーブ ← ヤズィード・ブン・アビー・ハビーブ ← イムラーン・ブン・アビー・アナス ← アブドゥッラフマーン・ブン・ジュバイル・アル＝ミスリー ← アムル・ブン・アル＝アース رضي الله عنه。

出典： イマーム・アブー・ダーウード『スナン』清浄の書、「大汚の者が寒さを恐れるとき」の章、ハディース番号 334。

等級： サヒーフ（真正）― アルバーニーが『サヒーフ・スナン・アビー・ダーウード』で真正と判定。

典拠： sunnah.com/abudawud:334

女性章 4:29

يَٰٓأَيُّهَا ٱلَّذِينَ ءَامَنُواْ لَا تَأۡكُلُوٓاْ أَمۡوَٰلَكُم بَيۡنَكُم بِٱلۡبَٰطِلِ إِلَّآ أَن تَكُونَ تِجَٰرَةً عَن تَرَاضٖ مِّنكُمۡۚ وَلَا تَقۡتُلُوٓاْ أَنفُسَكُمۡۚ إِنَّ ٱللَّهَ كَانَ بِكُمۡ رَحِيمٗا ٢٩

信仰する者よ，あなたがたの財産を，不正にあなたがたの間で浪費してはならない。だがお互いの善意による，商売上の場合は別である。またあなたがた自身を，殺し（たり害し）てはならない。誠にアッラーはあなたがたに慈悲深くあられる。

訳：三田了一 ― quran.com/4:29

アッラーの使徒ﷺの笑いと沈黙は、アムルの判断が正しかったことを示す*タクリール*（黙認）です。学者たちはここから、冷たすぎる水で死や病気を恐れる者はタヤンムムをしてよいという規定を導いています。

教訓

イスラームは容易さの宗教であり、命を守ります。アムルはクルアーンを深く理解し、それを正しい場面で用いました。

「正しい人にとって良い財産は何とすばらしいことか」

ある時アッラーの使徒 ﷺ はアムルを呼び、戦利品を得られる軍の指揮を任せようと申し出られました。アムルは、財産のためにイスラームに入ったのではないと答えました。

ハディースの注：«نِعْمَ الْمَالُ الصَّالِحُ لِلْمَرْءِ الصَّالِحِ»

アムルは言いました。「アッラーの使徒よ、私は財産のためにイスラームに入ったのではありません。イスラームを愛し、アッラーの使徒 ﷺ とともにいるために入ったのです。」すると彼は言われました。***「アムルよ、正しい人にとって良い財産は何とすばらしいことか。」***

伝承の評価： アルバーニーが『サヒーフ・アル＝アダブ・アル＝ムフラド』で*サヒーフ*と判定しています。

参照：

ブハーリー『アル＝アダブ・アル＝ムフラド』299；アフマド『ムスナド』。

教訓

合法的に得られ、それを善のために使う正しい人の手にある財産は、イスラームにおいて非難されるものではありません。

アッラーの使徒ﷺのオマーンへの使者

ヒジュラ暦 8 年、アッラーの使徒 ﷺ はアムルに書簡を持たせ、オマーンの二人の王、ジュランダーの息子 *ジャイファル*と *アブド*のもとへ送り、イスラームに招かれました。

歴史の注：オマーンの二人の王の入信

スィーラの書によれば、アムルの知恵によって二人の王はともにイスラームに入り、富裕な者からザカートを集めて現地の貧しい人々に分配することを彼に許しました。アムルはアッラーの使徒 ﷺ の逝去の知らせが届くまでオマーンにとどまりました。

伝承の評価： スィーラと歴史の書に伝えられています。

参照：
イブン・サアド『大列伝』；イブン・カスィール『始まりと終わり』。

教訓

知恵ある呼びかけは、流血なしに王たちの心を開きます。アムルの聡明さは、戦場だけでなく外交の場でもイスラームに仕えました。

「私の味方はアッラーと正しい信者たちだけである」

アムルはクライシュ族の名家の出身でした。それでも彼は、イスラームにおける忠誠は血筋ではなく信仰によって測られることを明らかにした、アッラーの使徒 ﷺ の言葉を伝えています。

ハディース — サヒーフ・ブハーリー、No. 5990

حَدَّثَنَا عَمْرُو بْنُ عَبَّاسٍ، حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ جَعْفَرٍ، حَدَّثَنَا شُعْبَةُ، عَنْ إِسْمَاعِيلَ بْنِ أَبِي خَالِدٍ، عَنْ قَيْسِ بْنِ أَبِي حَازِمٍ، أَنَّ عَمْرَو بْنَ الْعَاصِ، قَالَ سَمِعْتُ النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم جِهَارًا غَيْرَ سِرٍّ يَقُولُ " إِنَّ آلَ أَبِي " ـ قَالَ عَمْرٌو فِي كِتَابِ مُحَمَّدِ بْنِ جَعْفَرٍ بَيَاضٌ ـ لَيْسُوا بِأَوْلِيَائِي، إِنَّمَا وَلِيِّيَ اللَّهُ وَصَالِحُ الْمُؤْمِنِينَ.

訳：

カイス・ブン・アビー・ハーズィムによれば、アムル・ブン・アル＝アースは言った。私は預言者 ﷺ がひそかにではなく公然とこう言われるのを聞いた。「某の父の一族は ― （伝承者）アムルは言った。ムハンマド・ブン・ジャアファルの書ではここが空白になっていた ― *私の味方ではない。私の味方はアッラーと正しい信者たちだけである。*」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アムル・ブン・アッバース ← ムハンマド・ブン・ジャアファル（グンダル） ← シュウバ・ブン・アル＝ハッジャージュ ← イスマーイール・ブン・アビー・ハーリド ← カイス・ブン・アビー・ハーズィム ← アムル・ブン・アル＝アース رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』礼儀の書、「親族の絆はその潤いによって保たれる」の章、ハディース番号 5990。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:5990

同じ伝承の続きで、彼はこう言われました。「しかし彼らには血縁があり、私はそれを大切に保つ。」イスラームは、親族の絆を断つことなく信者への忠誠を教えます。

教訓

クライシュ族の名門の出であるアムルが、信仰を血筋の上に置くハディースを伝えました。真の誉れとは「正しい信者たち」の一人となることです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

パレスチナの開放

アブー・バクル・アッ＝スィッディークの時代、アムルはシャームへ送られた四人の司令官の一人に任命されました。彼の任務は***パレスチナ***を開くことでした。

歴史の注：アジュナーダインとエルサレム

歴史書によれば、アムルは***アジュナーダイン***（ヒジュラ暦13年）と***ヤルムーク***（15年）の戦いに参加し、その後ガザ、ナーブルス、ラムラなどパレスチナの多くの町を開き、***エルサレム***を包囲しました。町の人々は最後に、カリフ・ウマル・ブン・アル＝ハッターブ自らが来て町の明け渡しを受けることを求めました。

伝承の評価： 歴史書に伝えられていますが、年代や兵力の数は伝承によって異なります。

参照：

タバリー『諸使徒と諸王の歴史』；イブン・カスィール『始まりと終わり』。

教訓

アムルは預言者たちの地を開いた軍の一員でした。戦場での彼の指揮は、エルサレムがムスリムのもとに戻ることに貢献しました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

エジプトの開放

アムルはイスラーム以前にエジプトで交易をしており、その地をよく知っていました。ヒジュラ暦 18〜19 年、彼はカリフ・ウマルにエジプト開放の許可を求めました。

歴史の注：アリーシュからアレクサンドリアへ

歴史書によれば、アムルは約 4000 人の小さな軍を率いて***アリーシュ***と***ファラマー***を経て進み、ウマルが送ったズバイル・ブン・アル＝アウワームらの援軍とともに、ナイル川のほとりの***バビロン要塞***を包囲しました。ヒジュラ暦 21 年には***アレクサンドリア***も和約によって開かれました。

伝承の評価： 歴史書に伝えられていますが、年代や詳細は伝承によって異なります。

参照：

イブン・アブドゥルハカム『エジプト征服史』；タバリー『諸使徒と諸王の歴史』；バラーズリー『諸国征服史』。

教訓

イスラーム以前に得た知識と経験も、信仰のために使えば大きな財産になります。アムルはエジプトを知っていたからこそ、それを開くのに最もふさわしい人物でした。

アフリカ大陸最初のモスク

バビロンが開かれた後、アムルはナイル川のほとりに*フスタート*という新しい町を築きました。そしてその中心に、ヒジュラ暦 21 年にモスクを建てました。それが*アムル・ブン・アル＝アース・モスク*です。

歴史の注：質素なモスク

歴史書によれば、このモスクは当初とても質素なものでした。壁は日干しれんが、柱はナツメヤシの幹、屋根はナツメヤシの枝葉と木材でした。キブラ（礼拝の方角）を定める際には多くの教友が立ち会ったと伝えられます。これはエジプトとアフリカ大陸で最初に建てられたモスクで、何度も建て直されながら、今もカイロに建っています。

*伝承の評価：*歴史書に伝えられています。

参照：

イブン・アブドゥルハカム『エジプト征服史』；マクリーズィー『地誌（ヒタト）』。

教訓

モスクはイスラーム文明の最初の礎です。アッラーの使徒 ﷺ が預言者モスクからマディーナを始められたように、アムルも新しい町をアッラーの家から始めました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

努力して判断する総督と裁判官

アムルはウマル・ブン・アル＝ハッターブの時代にエジプトの総督となりました。彼は、イスラームの裁判学の重要な基礎となったハディースを伝えています。

ハディース — サヒーフ・ブハーリー、No. 7352

حَدَّثَنَا عَبْدُ اللَّهِ بْنُ يَزِيدَ، حَدَّثَنَا حَيْوَةُ، حَدَّثَنِي يَزِيدُ بْنُ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ الْهَادِ، عَنْ مُحَمَّدِ بْنِ إِبْرَاهِيمَ بْنِ الْحَارِثِ، عَنْ بُسْرِ بْنِ سَعِيدٍ، عَنْ أَبِي قَيْسٍ، مَوْلَى عَمْرِو بْنِ الْعَاصِ عَنْ عَمْرِو بْنِ الْعَاصِ، أَنَّهُ سَمِعَ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم يَقُولُ " إِذَا حَكَمَ الْحَاكِمُ فَاجْتَهَدَ ثُمَّ أَصَابَ فَلَهُ أَجْرَانِ، وَإِذَا حَكَمَ فَاجْتَهَدَ ثُمَّ أَخْطَأَ فَلَهُ أَجْرٌ ".

訳：

アムル・ブン・アル＝アースは、アッラーの使徒 ﷺ がこう言われるのを聞いた。*「裁く者が判断を下すとき、努力して（イジュティハードして）正しければ、彼には二つの報奨がある。判断を下すとき、努力して誤ったとしても、彼には一つの報奨がある。」*

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アブドゥッラー・ブン・ヤズィード・アル＝ムクリー ← ハイワ・ブン・シュライフ ← ヤズィード・ブン・アブドゥッラー・ブン・アル＝ハーディー ← ムハンマド・ブン・イブラーヒーム・ブン・アル＝ハーリス ← ブスル・ブン・サイード ← アムルの解放奴隷アブー・カイス ← アムル・ブン・アル＝アース رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』クルアーンとスンナを堅持する書、「努力して判断する裁く者の報奨」の章、ハディース番号 7352。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:7352

アッラーは為政者に、信託を返し、公正に裁くよう命じておられます。

女性章 4:58

۞إِنَّ ٱللَّهَ يَأۡمُرُكُمۡ أَن تُؤَدُّواْ ٱلۡأَمَٰنَٰتِ إِلَىٰٓ أَهۡلِهَا وَإِذَا حَكَمۡتُم بَيۡنَ ٱلنَّاسِ أَن تَحۡكُمُواْ بِٱلۡعَدۡلِۚ إِنَّ ٱللَّهَ نِعِمَّا يَعِظُكُم بِهِۦٓۗ إِنَّ ٱللَّهَ كَانَ سَمِيعَۢا بَصِيرًا ٥٨

誠にアッラーは，あなたがたが信託されたものを，元の所有者に返還することを命じられる。またあなたがたが人の間を裁く時は，公正に裁くことを命じられる。アッラーがあなたがたに訓戒されることは，何と善美なことよ。誠にアッラーは全てを聴き凡てのことに通暁なされる。

訳：三田了一 — quran.com/4:58

教訓

為政者と裁判官は、真理を求めて真剣に努めなければなりません。アッラーは彼らに完璧さではなく、努力と誠実さを求めておられるのです。

教友たちの間の争い

カリフ・ウスマーン・ブン・アッファーンが殺害された後、教友たちの間に大きな対立が生じました。アムルは***スィッフィーン***の戦い（ヒジュラ暦 37 年）でムアーウィヤ・ブン・アビー・スフヤーンの側に立ち、***調停（タハキーム）***でその側を代表しました。

信条の注：教友たちの対立に対する私たちの姿勢

スンナと共同体の民（アフル・アッ＝スンナ・ワ・アル＝ジャマーア）の学者たちは、教友たちの間に起きた対立について、彼らを非難することを控えるべきだという点で一致しています。彼らは皆、努力して判断しました。正しかった者には二つ、誤った者には一つの報奨があります。アムル自身が伝えたハディース（サヒーフ・ブハーリー 7352）のとおりです。調停について広く出回っている話の多くは、アブー・ミフナフのような弱く偏った伝承者を通じて伝わったもので、頼ることはできません。

伝承の評価： 信条上の原則。調停に関する詳しい話の多くは弱い伝承です。

参照：

タハーウィー『タハーウィー信条』；イブン・カスィール『始まりと終わり』；イブン・アル＝アラビー『破滅からの守り（アル＝アワースィム）』。

教訓

私たちはアッラーの使徒 ﷺ の教友たちすべてを愛し、彼らの対立はアッラーにゆだねます。これは、心とウンマ（共同体）の一致を守るために学者たちが教えてきた作法です。

最期のとき

アムルはムアーウィヤの時代に再びエジプトの総督となり、ヒジュラ暦 ***43 年***、一説ではイード・アル＝フィトルの前夜に、約 90 歳でエジプトで亡くなりました。

サヒーフ・ムスリム 121 のハディース（第 5 章）で、アムルは臨終の際、アッラーの使徒 ﷺ の逝去後に自分が担った「事柄」を案じて泣きました。彼は、葬列に泣き女も火も伴わせないこと、埋葬後しばらく人々が墓のそばにとどまり、天使に答えるときに心を安らげられるようにすることを遺言しました。

学者たちはこの遺言から、埋葬後に墓のそばにとどまって故人のために祈ることがスンナであると導いています。アッラーの使徒 ﷺ も言われました。「あなたがたの兄弟のために赦しを願い、彼のために堅固さを願いなさい。彼は今、問われているのだから」（アブー・ダーウード 3221）。

教訓

国々を開いた偉大な司令官でさえ、アッラーを畏れて泣きました。彼の希望は、勝利や地位ではなく、信仰の証言に託されていたのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

アムル・ブン・アル＝アースの人柄

アムルの物語は、聡明さと指導力とアッラーへの畏れをあわせ持った信者の姿を描いています。

資質	彼の生涯からの例
悔悟	最も激しい敵から教友へ（サヒーフ・ムスリム 121）
愛と畏敬	畏敬のあまりアッラーの使徒 ﷺ を目いっぱい見つめられなかった
指導力	ザート・アッ＝サラースィルの司令官（サヒーフ・ブハーリー3662）
宗教の理解	女性章 4:29 に基づくタヤンムム（アブー・ダーウード 334）
外交	オマーンの王たちをイスラームに招いた
建設	フスタートにアムル・モスクを建てた
アッラーへの畏れ	臨終に泣いた

教訓

アムルは、信仰に導かれた知恵が文明を築けること、そして最も頑なな心でさえアッラーの導きで柔らかくなることを示しています。

アムルの物語の出典

この表は、読者が真正な話と単に有名な話とを区別できるよう、各物語の出典と評価をまとめたものです。

物語	出典	評価
忠誠の誓いと「イスラームはそれ以前のものを打ち消す」	サヒーフ・ムスリム 121	サヒーフ
臨終の遺言	サヒーフ・ムスリム 121	サヒーフ
ザート・アッ＝サラースィルの司令官	サヒーフ・ブハーリー3662、4358	サヒーフ
努力して判断する裁く者	サヒーフ・ブハーリー7352	サヒーフ
「私の味方はアッラーと正しい信者たち」	サヒーフ・ブハーリー5990	サヒーフ
寒い夜のタヤンムム	アブー・ダーウード 334	サヒーフ
「正しい人にとって良い財産はすばらしい」	アル＝アダブ・アル＝ムフラド 299	サヒーフ
クライシュ族のナジャーシーへの使者	アフマド『ムスナド』1740	ハサン
ナジャーシーのアムルへの忠告	アフマド『ムスナド』	ハサン
「人々は帰依し、アムルは信じた」	ティルミズィー3844	見解が分かれる
ハーリドとともにマディーナへ	イブン・イスハーク	スィーラ
オマーンへの使者	イブン・サアド	スィーラ
パレスチナとエジプトの開放	タバリー；イブン・アブドゥルハカム	歴史
フスタートのアムル・モスク	イブン・アブドゥルハカム；マクリーズィー	歴史

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

アムルの物語に登場する人物

人物	役割
アブドゥッラー・ブン・アムル	息子。学識ある教友でハディースの記録者
ナジャーシー（アスハマ）	彼に入信を勧めたアビシニア王
ジャアファル・ブン・アビー・ターリブ	ナジャーシーの前でのムスリムの代弁者（第 8 巻）
ハーリド・ブン・アル＝ワリード	彼とともに入信（第 3 巻）
ウスマーン・ブン・タルハ	カアバの鍵の管理者。彼とともに入信
アブー・ウバイダ・ブン・アル＝ジャッラーフ	ザート・アッ＝サラースィルへ援軍を率いた（第 4 巻）
ジャイファルとアブド	イスラームに入ったオマーンの王たち
ウマル・ブン・アル＝ハッターブ	エジプト開放を許したカリフ
ズバイル・ブン・アル＝アウワーム	エジプト開放で援軍を率いた
イブン・シャマーサ・アル＝マフリー	最期のときの伝承者

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

アムルの物語に登場する場所

場所	出来事
マッカ	サハム家に生まれ育つ
アビシニア	クライシュ族の使者；のちにナジャーシーの忠告
マディーナ	イスラームに入る（ヒジュラ暦 8 年）
ザート・アッ＝サラースィル	遠征隊の司令官（8 年）
オマーン	オマーンの王たちへの使者
パレスチナ	アジュナーダイン、ガザ、エルサレム（13〜16 年）
バビロンとアレクサンドリア	エジプトの開放（19〜21 年）
フスタート	アフリカ大陸最初のモスク（21 年）

アムルの生涯の年表

年	出来事
ヒジュラ前約 47 年	マッカに生まれる
預言者の使命第 5 年	クライシュ族のナジャーシーへの使者
ヒジュラ暦 3〜5 年	クライシュ族側でウフドと塹壕の戦い
8 年	入信；ザート・アッ＝サラースィルの司令官；オマーンへの使者
13〜15 年	パレスチナの開放；アジュナーダインとヤルムーク
19〜21 年	エジプトの開放；フスタートのアムル・モスク
37 年	スィッフィーンと調停
43 年	約 90 歳でエジプトで死去

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

アムルについてよくある質問

この章では、アムル・ブン・アル＝アース رضي الله عنه についてよく尋ねられる質問に答えます。答えは簡潔で、詳しくはこれまでの章にあります。

1. アムルのフルネームは？

アムル・ブン・アル＝アース・ブン・ワーイル・アッ＝サハミー・アル＝クラシー。クンヤはアブー・アブドゥッラー。

2. アムルはいつイスラームに入ったか？

ヒジュラ暦 8 年、マッカ征服の前に、ハーリド・ブン・アル＝ワリード、ウスマーン・ブン・タルハとともに。

3. 彼の入信にナジャーシーはどんな役割を果たしたか？

ナジャーシーは、アッラーの使徒 ﷺ は真理の上にいるので彼に従うよう忠告した。

4. アムルは忠誠を誓うとき何を条件にしたか？

赦されること。預言者は「イスラームはそれ以前のものを打ち消す」と答えられた（サヒーフ・ムスリム 121）。

5. アムルへの答えで、アッラーの使徒 ﷺ が最も愛した人は？

アーイシャ、次にその父アブー・バクル、次にウマル（サヒーフ・ブハーリー 3662）。

6. なぜアムルはザート・アッ＝サラースィルでタヤンムムをしたか？

冷たすぎる水で死ぬことを恐れ、女性章 4:29 を根拠として（アブー・ダーウード 334）。

7. アッラーの使徒ﷺはアムルをどこへ使者として送ったか？

オマーンの王たち、ジュランダーの息子ジャイファルとアブドのもとへ。

8. アムルはどの地を開いたか？

アブー・バクルとウマルの時代にパレスチナを、ウマルの時代にエジプトを。

9. アフリカ大陸最初のモスクは？

フスタートのアムル・ブン・アル＝アース・モスク。ヒジュラ暦 21 年建立。

10. 裁判に関するアムルのハディースは？

努力して正しく裁いた者には二つ、誤った者には一つの報奨がある（サヒーフ・ブハーリー7352）。

11. スィッフィーンに対する私たちの姿勢は？

教友たちを非難することを控え、その事柄をアッラーにゆだねること。

12. アムルの物語の最大の教訓は？

イスラームは過去のすべての罪を打ち消し、信仰に導かれた知恵は文明を築く。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

教訓とむすび

アムル・ブン・アル＝アース رضى الله عنه の物語は、ムスリムをアビシニアまで追ったクライシュ族の使者に始まり、生涯の終わりにアッラーを畏れて泣くエジプトの征服者で終わります。

教訓	アムルの物語から
悔悟の扉は開かれている	「イスラームはそれ以前のものを打ち消す」
確信による信仰	クライシュ族がまだ強いときに入信した
指導力	アッラーの使徒 ﷺ により司令官に任命された
宗教の理解	クルアーンの節を正しい場面で用いた
文明の建設	ナイル川のほとりのモスクと町
教友たちへの作法	彼らの対立について口を慎む
アッラーへの畏れ	生涯の終わりに信仰の証言に頼る

アムルから学びましょう。アッラーの慈悲に決して絶望せず、知恵を善のために使い、どれほど高い地位にあってもアッラーを畏れ続けることを。

インシャーアッラー、『イスラームの英雄』シリーズは、また別のイスラームの英雄の物語へと続きます。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

参考文献

クルアーンと解釈

聖クルアーン、ウスマーン版の本文と三田了一訳。quran.com

イブン・カスィール『偉大なるクルアーンの解釈』（戦利品章 8:38；女性章 4:29、4:58）。

ハディース

サヒーフ・ブハーリー 3662、4358、5990、7352。sunnah.com/bukhari

サヒーフ・ムスリム 121。sunnah.com/muslim

スナン・アビー・ダーウード 334、3221。sunnah.com/abudawud

ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー 3844。sunnah.com/tirmidhi

ブハーリー『アル＝アダブ・アル＝ムフラド』299。

アフマド・ブン・ハンバル『ムスナド』ハディース番号 1740、およびアムル・ブン・アル＝アースの入信に関するハディース。

スィーラ・歴史・伝記の書

イブン・ヒシャーム『預言者伝』（イブン・イスハークの伝承）。

イブン・サアド『大列伝』（アムル・ブン・アル＝アースの伝記）。

イブン・アブドゥルハカム『エジプトとマグリブの征服史』。

バラーズリー『諸国征服史』。

タバリー『諸使徒と諸王の歴史』。

イブン・カスィール『始まりと終わり』。

ザハビー『高貴なる人々の伝記』。

イブン・ハジャル・アル＝アスカラーニー『教友識別の書（アル＝イサーバ）』。

イブン・アル＝アラビー『アル＝アワースィム・ミン・アル＝カワースィム』；タハーウィー『タハーウィー信条』。

Wikipedia「Amr ibn al-As」。en.wikipedia.org/wiki/Amr_ibn_al-As

QURANSCIENCE.MY の関連シリーズ

『イスラームの英雄』第 1 巻：ハムザ・ブン・アブドゥルムッタリブから第 9 巻：アブドゥッラー・ブン・ラワーハまで。特に第 3 巻：ハーリド・ブン・アル＝ワリードと第 8 巻：ジャアファル・ブン・アビー・ターリブ。quranscience.my/#pahlawan

支援と寄付

この電子書籍はムスリムのために**完全に無料**で発行されており、**決して販売してはなりません。**研究費、ウェブサイト quranscience.my の運営費、そして次の電子書籍の発行のためのご寄付を心から歓迎します – ただし、**義務ではありません。**アッラーがすべてのご寄付を継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）としてお受け入れくださいますように。

雌牛章 2:261

مَّثَلُ ٱلَّذِينَ يُنفِقُونَ أَمۡوَٰلَهُمۡ فِي سَبِيلِ ٱللَّهِ كَمَثَلِ حَبَّةٍ أَنۢبَتَتۡ سَبۡعَ سَنَابِلَ فِي كُلِّ سُنۢبُلَةٖ مِّاْئَةُ حَبَّةٖۗ وَٱللَّهُ يُضَٰعِفُ لِمَن يَشَآءُۚ وَٱللَّهُ وَٰسِعٌ عَلِيمٌ ٢٦١

アッラーの道のために自分の所有するものを施す者を例えてみれば、ちょうど 1 粒が 7 穂を付け、1 穂に百粒を付けるのと同じである。アッラーは御心に適う者に、倍加してくださる。アッラーは厚施にして全知であられる。

訳：三田了一 — quran.com/2:261

サバア章 34:39

قُلۡ إِنَّ رَبِّي يَبۡسُطُ ٱلرِّزۡقَ لِمَن يَشَآءُ مِنۡ عِبَادِهِۦ وَيَقۡدِرُ لَهُۥۚ وَمَآ أَنفَقۡتُم مِّن شَيۡءٖ فَهُوَ يُخۡلِفُهُۥۖ وَهُوَ خَيۡرُ ٱلرَّٰزِقِينَ ٣٩

言ってやるがいい。『本当にわたしの主は、そのしもべの中から御心に適う者に、御恵みを豊かに与えまた或る者には乏しく授けられる。かれはあなたがたが（主の道のために）施すものはすべて返される。かれは最も優れた御恵を与える方であられる。』

訳：三田了一 — quran.com/34:39

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 2588 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، وَابْنُ، حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - وَهُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، عَنْ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « مَا نَقَصَتْ صَدَقَةٌ مِنْ مَالٍ وَمَا زَادَ اللَّهُ عَبْدًا بِعَفْوٍ إِلاَّ عِزًّا وَمَا تَوَاضَعَ أَحَدٌ لِلَّهِ إِلاَّ رَفَعَهُ اللَّهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「施しは財産を減らさない。人を赦すしもべに、アッラーは尊厳しか増し加えない。アッラーのためにへりくだる者を、アッラーは必ず高められる。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← アル＝アラー・ブン・アブドゥッラフマーン ← 父 アブドゥッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه 。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』善行・親族の絆・作法の書、赦しと謙虚さを勧めることの章、ハディース第 2588 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：sunnah.com/muslim:2588

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 1631 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، - يَعْنِي ابْنَ سَعِيد - وَابْنُ حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - هُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « إِذَا مَاتَ الإِنْسَانُ انْقَطَعَ عَنْهُ عَمَلُهُ إِلاَّ مِنْ ثَلاَثَةٍ إِلاَّ مِنْ صَدَقَةٍ جَارِيَةٍ أَوْ عِلْمٍ يُنْتَفَعُ بِهِ أَوْ وَلَدٍ صَالِحٍ يَدْعُو لَهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「人が死ぬと、その行いは三つを除いて途絶える。継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）、役に立つ知識、またはその人のために祈る正しい子どもである。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← アル＝アラー・ブン・アブドッラフマーン ← 父 アブドッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه 。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』遺言の書、死後に人に届く報奨の章、ハディース第 1631 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：sunnah.com/muslim:1631

ジャザークムッラーフ・ハイラン・カスィーラ（多大なる善い報いがありますように）



上の QR コード（DuitNow）を読み取って寄付できます。

海外からのご寄付：上の PayPal QR コードを読み取るか、こちらへ paypal.me/quranscience